

町の生活情報紙
— IIDE PUBLIC RELATIONS —

広報いいいで

11

10, November
2011
Vol.1016

丹精込めて育てました。

ラフランスの収穫にいそむ伊藤佐市さん(榎)。「やや小ぶりの実ながらも、味は甘みがあって上出来」と評価する

- 03 いいでの地域力◎中津川むらづくり協議会
中津川を全国に発信し、定住促進の体制を強化
- 04 いいでの知名度◎飯豊町観光協会
「日本旅行は飯豊町」台湾で注目を集める！
- 05 いいでの広がり◎JA山形おきたま飯豊地区青年部
出会いを生む森づくり 環境保全でおいしい米を
- 06 地区文化祭巡りバスツアー！
- 08 まちかどNEWS
公開講座「救急フォーラム置賜2011」／宇津峠歩こう会／
手ノ子スキー場「ふれあい動物」ほか
- 10 直伝おふくろの味
- 11 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 12 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 13 健康ikiiki
- 14 にぎわいスマイル写真展で町の元気を発信！
がんばりの軌跡
- 15 町民総合センター「あ～す」開館20周年記念式典のお知らせ
など／緑のふるさと協力隊通信
- 16 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 18 全国山野草・つみ草料理町おこしサミットinいいで
- 20 町宝いいで ～松原文殊堂社叢～

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。
大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。
どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。
これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の

表紙

環境に優しいEMを使って栽培に取り組む



3℃に保たれた冷蔵庫の中で追熟させているラフランスの状態を確かめる伊藤さん

10月中旬、伊藤佐市さん(橋)はラフランスの収穫に追われていました。伊藤さんの生産方法の特色は、環境に優しいEM(有用微生物群)を、木の殺菌と活性化、ぼかし堆肥づくりに活用していることです。ラフランスは、真冬の剪定やこまめな消毒、収穫後の熟成を進める追熟など、出荷までとても手のかかる果物。伊藤さんは「手間を惜しまず、お客さまに安全でおいしいものを届けたい」と話します。

いいでの 地域力

SELECTION ①

町内初、地区のホームページを開設。さらに移住相談窓口と定住支援員を配置して、人口増を目指す。

ACCESS!



中津川地区公式ホームページには、地区のピーアールのほか、出来事やイベント情報も掲載

いいもんだ中津川

検索

<http://www.iide-nakatugawa.com/index.html>

中津川を全国に発信し、定住促進の体制を強化



「失敗を恐れず、定住促進のための挑戦を続けていきたい」と語る中津川むらづくり協議会の伊藤和憲会長

安心して移住できる環境を

中津川地区では今、定住促進に向けた環境整備を進めている。

「以前から中津川に住んでみたいという問い合わせがあった。でもそれに対し、相談に乗る人も組織もあいまいなままだった」と中津川むらづくり協議会の伊藤和憲会長（岩倉）は話す。血縁がなく、知人がいない人でも安心して中津川に移住できる体制づくりがこれまでの課題だった。

そして今年、地区公民館内に「移住相談窓口」を設けた。車で通る人や地域住民にもわかるように公民館正面に特大的看板を設置。協議会事務局が中心となって相談を受ける。移住してからの支援体制も整備した。地域内から5名を「定住支援員」に委嘱。「暮らし」、「企業・雇用」、「林業」、「農業・畜産」、「行政」の5分野で担当し、移住者の相談に乗り支援する。「相談があれば人によってまちまちだった回答が、これからは正確で統一したものになる」と伊藤会長は、移住相談窓口と定住支援員の役割に期待を寄せる。

さらに、地域の魅力を発信

し、定住を呼びかける地区公式のホームページを町内で初めて立ち上げた。トップページに中津川の四季の写真をあしらひ、地区の紹介のほか、定住支援員の顔写真も添えられている。

「ホームページは、常に最新情報を更新していくことが大事。例えば桜が見ごろとか、ささやかなことでもどんどんアップし、中津川のほのぼのとした雰囲気伝えていきたい」と伊藤会長は話す。

協議会を中心とした定住化促進の取り組みは、平成18年からスタートさせた。協議会内に特別委員会として「定住化検討委員会」を設置。専門家や先進地から講師を招いて研修会を開き、勉強を重ねてきた。昨年、財団法人地域活性化センターからの助成を受けて事業は一気に進展した。定住促進には、雇用創出という課題も避けて通れない。移住者に対して働く場所を紹介する命題を協議会では忘れてはいない。同じく特別委員会として「産業振興検討委員会」を設置し知恵を絞る。

今日も中津川では、地域の人口増加に向け、住民の真剣な話し合いが続けられている。

いいでの 知名度

SELECTION ②

飯豊町が今、台湾の旅行業界から熱い視線を注がれている。その陰には、町観光協会の営業努力があった。

PROMOTION!



10月3日には、台湾の台中市で行われた「2010台中国際旅行展覧会」に町観光協会が参加。高橋眞副会長と協会職員が、台湾の旅行社各社に飯豊町の魅力を売り込んだ
(写真提供：町観光協会)



「日本旅行は飯豊町」 台湾で注目を集める！



上／台湾の国旗を振り、団体客を迎える町観光協会職員
(写真提供：町観光協会)

下／観光地としての飯豊町は台湾のテレビ、新聞、雑誌で数多く紹介され、その注目度が高くなる

「品格ある田舎」をPR

夏の日差しが照りつける7月24日、町観光協会の鈴木忠好会長と職員の下瓶裕基さんは、台湾の台北市にいた。目的は、「観光地・飯豊町」の安全・安心を大手旅行会社に理解してもらうこと。東日本大震災による原発事故は、外国人にとって日本旅行を控える大きな要因となっている。

「飯豊連峰と吾妻連峰に隔たれた本町は、東北地方の中でも放射線の心配のない地域の一つであることをしっかりと伝えたかった」と二瓶さん。

台湾には人と人のつながりを重んじる国民性がある。商談は対面が基本。訪問したどの旅行社も二人を歓迎し、説明に理解を示してくれた。

そして、その中の一社である名生旅行社は、「コンセプトのない旅行は、お客さまを引き付けられない」と指摘。テレビや新聞社、旅行業界の関係者を集め、本町を訪れる「日本の田舎ツアー」の企画を逆提案されたのだ。

9月17日と18日の両日、この企画は実現された。町観光協会は、なかつがわ農家民宿組合とタイアップし、ツアー

に参加したマスコミ・旅行会社など12社・16人のお客さまを迎え入れた。民宿の皆さんが、台湾の国旗を片手に笑顔で出迎え、一緒に野菜を収穫したり、郷土料理を作ったり、身振り手振りを交えての会話を楽しんだり、いつもどおりのおもてなしが、台湾のお客さまに喜ばれた。別れの場面では、宿主と抱き合って涙を流すお客さまの姿もあった。

ツアー後、早速、飯豊町は台湾のテレビ、新聞、雑誌で大きく取り上げられた。農家民宿の人たちの笑顔や散居集落の風景が、市バスのボディ広告に印刷されるなど、台北市の街角をにぎわしている。

町観光協会は、この冬の台湾からの観光客数を1000人と目標にする。懸念材料は、止まらない円高だ。一昨年度は2120人だったのに対し、昨年度は1053人と半減している。

「このブームをチャンスに捉え、『品格ある田舎』として本町をアピールし続けなければならぬ」と二瓶さんは表情を引き締める。そして「町内の観光協会会員の皆さんに利益をもたらしたい」と変わらない営業努力を誓った。

いいでの 広がり

SELECTION ③

米づくりは、“美しい森と水づくり”から。JA山形おきたま飯豊地区青年部の活動の輪が町内外に広がる

RELATION!



昨年7月には、青年部と交流のある東京都杉並区の小中学生とその保護者が本町を訪れ、農業体験と森づくりに参加した。本町での体験を通して町の恵まれた自然環境を実感してもらった。(写真提供：JA山形おきたま飯豊地区青年部)

出会いを生む森づくり 環境保全でおいしい米を



上/10月20日、中部地区「しろあと教室」の会員の皆さんも青年部の活動に賛同して、源流の森で森づくりに参加。左が部員の高橋勝さん
下/青年部の皆さんの森づくり活動の様子。森を守ることは、作物に必要なきれいな水を作ることと考える(写真提供：JA山形おきたま飯豊地区青年部)



「ニューエコライズ」構想

最上川の源流、白川。この川の水が町の水田を潤し、美味と賞賛される米を育む。そしてその川の原点は森林にある――。そう考え、アクションを起こしたのが、JA山形おきたま飯豊地区青年部(後藤正徳委員長・萩生)だ。

青年部が環境保全に着目したのは平成17年から。身近な視点で、町の環境保全に貢献できることはないか、その着想から「ひまわり活動」が最初に生まれた。各家庭で育てたヒマワリの種を回収し、製油して提供する。ヒマワリ栽培を通して、「食と環境の循環」を考えてもらう取り組みだ。

「初めは、ふるさと飯豊発見隊での事業でしたが、JA青年部の仲間が参画したことで環境保全活動が深まり、進展しました」と活動の中心的役割を担う部員の高橋勝さん(添川)は経緯を話す。そして昨年からは、青年部が新たに着目したのが、「森づくり」だ。白川の水を育む森を守ることは、良質な米の生産につながる考えたのだ。昨年6月に源流の森で開かれた「やまがた森の感謝祭」

に青年部として参加。それを皮切りに、県が推進する森づくり事業「やまがた絆の森プロジェクト」に乗じ、源流の森を拠点に植樹、下刈り、枝打ちなどの活動を展開する。

さらに活動の輪を、部員以外の人たちにも広げる努力を忘れない。「いいで未来の森プロジェクト!」と銘打ち、町民の参加を呼びかけた。先月20日に行われた活動には、中部地区から「しろあと教室」の会員16名が参加し、植樹に汗を流した。また昨年7月と今年11月に、青年部が稲作体験出前事業で交流のある東京都の小中学生とその保護者を町に招き、農業と森づくりを体験してもらい、町の自然環境に触れ合う機会を設けた。

「すでに延べ100人以上の部員と一般の人たちが、われわれの森づくりに関わった」と高橋さんは胸を張る。青年部では、一連の環境保全の取り組みが、人との「出会い・つながりの場」となり、それが新たな農産物の付加価値につながるればと考える。森づくりに終わりはない。活動の持続と、より多くの農家と一般住民を巻き込む次の一手が課題となりそうだ。

バスツアー参加者を見送る中部地区
文化祭役員と公民館職員の皆さん



地区文化祭巡り バスツアー！

[cultural festival]

5地区公民館合同企画で初の試み

「中部地区文化祭へようこそ
お越しくございました」
町内文化祭を巡るバスが到着
し、中部地区公民館の嘉藤幹夫
館長は、参加者へ歓迎の言葉を
伝えた。

10月29日と30日の両日、町内
5地区で文化祭が同日に開催さ
れた。これに併せ、30日に5地
区公民館が合同企画し、初の試
みとなる町内文化祭を巡るバス
ツアーが行われたのだ。

地区外の住民の方にも気軽に
文化祭に訪れてもらい、交流を
深めてもらうのが目的。さらに
地区公民館同士の連携強化を図
る狙いもある。バスの賃借料は、
地区公民館が共同で負担した。

ツアーの参加料は無料。バス
の発車時刻に合わせて最寄りの
公民館から乗車し、各会場を巡
回する。会場には30分間滞在し、
その間、展示の見学や催しの参
加など、思い思いに文化祭を楽
しむことができる。地区によっ
ては、お茶のサービス、売店の
無料引換券、お土産などを準備
し、参加者を歓迎した。

中部地区文化祭に婦人学級と
して作品を出品した梅津ミサ子
さん(萩生)と坂爪初子さん(中)
は、ほかの地域の見学者を迎え

て次のように声を弾ませた。

「作品に興味を持って見てく
れたのがとてもうれしかった。
毎年来場者が固定化し、マンネ
リ化していたので、バスツアー
の皆さんのおかげで、今回は気
合いが入りました」

この企画を中心となって進め
てきた白樺地区公民館職員の鈴
木孝さんは、「各地区文化祭の
催しに合わせて、バスの到着時
間を配置するのがとても難し
かった」と打ち明ける。それで
も「今回出た課題をみんなで話
し合い、次に生かしたい」と来
年の継続に意欲を示す。

公民館では文化祭をはじめ、
地区行事をマンネリ化させず、
どうやって盛り上げていくかが
課題になっている。

今年7月、5館連携による公
民館活動の推進を目的に「飯豊
町公民館連絡協議会」が設立さ
れた。そしてその愛称を「5カ
ラット」と名づけた。5館を結
んでリングを描き、宝石のよう
に町を輝かせる決意を込めたの
だ。その事業の第一弾こそが、
今回の文化祭巡りバスツアー
だった。

5館連携の合同企画を今後も
注目していきたい。

地区文化祭

催し

program



①中部地区／萩生石箱遺跡を会場にまが玉のネックレスづくり。参加者は古代に思いを馳せた ②白樺地区／スタンドグラスの明かりだけを灯した暗室に東日本大震災の被災地の写真を展示。復旧・復興への願いを込めた ③東部地区／本格手打ちそばを楽しめるのは東部地区文化祭だけ。添川産そば粉を使用し、上代そばの会の皆さんが腕を振った ④西部地区／文化祭オープニングとして、手ノ子幼稚園の園児が獅子舞を披露。来場者からの声援と拍手に沸いた ⑤中津川地区／伊藤さみ子さん(遅谷)は中津川の昔を語り、その脇で高橋竹子さん(広河原)と高橋さみこさん(同)がむしろ織りを実演した



地区文化祭

展示

exhibits

①中部地区／婦人学級の皆さんが裁縫した防災用頭巾とリュック。作品の展示とともに災害に対するの備えを呼びかけた ②白樺地区／伊藤義弘さん(椿)所有の「椿焼き」の水がめ。明治時代以前に焼かれたものと推測され、価値が高い ③東部地区／富永藤泰さん(松原)制作の「花カレンダー」。山野草の写真撮影から印刷、製本まですべて富永さんがこなした力作。過去の12点を一挙展示 ④西部地区／高橋初子さん(手ノ子)所有の「ゆうがわ」。穀物などを保存する容器として使用されていたもので、約80年経過しているという ⑤中津川地区／渡部み奈子さん(白川)が出展した「あそびま書」。あそび心たっぷりの書におもわず笑みがこぼれる



横山秋子さん(手ノ子)
淳美ちゃん(孫)

interview

文化祭バスツアーに参加して

全地区の文化祭が見れるということで参加しました。バスでの移動は便利でとてもありがたかったです。会場を小学校の一箇所にまとめたり、展示方法もそれぞれの文化祭ごとに工夫があり、勉強になりました。自分たちの文化祭に、見学して良いと思ったものを取り入れて役立てていきたいです。



バスツアー参加者に展示品の説明をする中部地区婦人学級の皆さん

▶▶▶ ZOOM◎地区文化祭巡りバスツアー！

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線222



めざみの里観光物産館が里芋掘りに園児を招待

秋の実りに大喜び

9月26日、めざみの里観光物産館は、町内幼児施設の園児を里芋掘りに招待しました。同館では今年、隣接する私有地の畑約2.5㍍を借りて、イベントで使うソバ、枝豆、大根などを栽培。そのうち収穫を迎えた里芋を町内の子どもたちに振る舞い、地元農産物のおいしさを知ってもらおうと企画しました。参加した手ノ子幼稚園の園児24名は、背丈以上ある茎に目を丸くしながらも、土の中でぎっしり実った里芋を掘り出して歓声を上げていました。

宇津峠歩こう会

自然と歴史を肌にかけて



10月23日、手ノ子地区で、「宇津峠歩こう会」が行われました。峠の歴史的な価値と美しい自然景観を広く知ってもらおうと手ノ子地区協議会が企画。8回目となる今年は、参加者にガイドブック史跡編が配られたほか、明治時代に作られた「小国新道」を新たにコースに取り入れられました。町内外から約80名が参加し、歴史をしのぶ旧跡や珍しい巨木などを巡り歩き、真っ盛りの紅葉を楽しんでいました。

公開講座「救急フォーラム置賜2011」

東日本大震災を教訓に



10月8日、町民総合センター「あ〜す」で、救急フォーラム置賜2011が開かれました。町内外から約300名が参加。講演では、東日本大震災の被災地で任務に当たった消防士、医師、自衛隊員がそれぞれの活動内容を報告。そのうち陸上自衛隊の朝倉健一衛生隊長は、「避難所では持病の薬が切れ、不調を訴える人が多かった。非常用の薬を準備しておくことも大切」など、救援活動からの教訓を話されていました。



手ノ子スキー場「ふれあい動物」

夏場のスキー場ににぎわいを

6月から10月にかけて、手ノ子スキー場活性化組合（寒河江勝組合長・高峰）は、夏場のスキー場の“にぎわいづくり”を目指し、「ふれあい動物」に取り組みました。ウサギを抱いたりできる触れ合いやポニー乗馬体験などの催しを毎月第4日曜日に開催。最終日の10月23日には、いも煮の振る舞いも行われ、多くの親子でにぎわいました。寒河江組合長は、「遠くは村山地域からのお客さまもあり、うれしく思いました。来年も開催する予定です」と成果を話してくださいました。

添川児童センター「釘打ち体験」

先生は地元の大工さん



10月3日、添川児童センターで「釘打ち体験」がありました。大工の仕事と木の温もりを知ってもらおうと、同センターが「山形県みどり環境交付金事業」を活用して企画しました。一級建築士で大工の後藤正美さん（添川）が先生となって指導。園児たちは心地よい音をたてて釘を叩き、「楽しい」とにっこり。後藤さんは、「子どもたちに木の魅力を感じてもらえればうれしいです」と話してくださいました。

町高齢者レクリエーション大会

楽しく運動、元気はつらつ



10月18日、白樺地区公民館で町高齢者レクリエーション大会が開かれました。町内全域から約350人が参加。公式ワナゲやゴム輪送りリレーなどの競技が繰り広げられ、好プレー・珍プレーが続出して、会場は終始、拍手と笑い声に包まれていました。また大会に先立ち、「山新おしどり金婚さん」顕彰記念品贈呈式も行われ、結婚50年を迎えた夫婦21組にリレーフと、町社会福祉協議会から記念品が贈られました。



10/29

新潟山形南部連絡道路建設促進
期成同盟会飯豊大会（あ～す）



10/18

ほのぼのサロン交流会
（東部地区公民館）



10/16

町芸能発表会
（あ～す）

直伝おふくろの味

旬の食材を使って楽しむ精進料理
キクラゲ・リンゴ・菊の白和え

【材料】（4人分）

◇キクラゲ	300 ^g
◇リンゴ中玉	1個
◇食用菊	1掴み
◇木綿豆腐	1丁半
◇クルミ	少々
◇塩	少々
◇酢	少々
◇しょう油	大さじ2杯
◇砂糖	適宜

【作り方】

- ① 一晩水につけて戻したキクラゲをきれいに洗い、しょう油で10分ほど煮て味をつけ、汁気をしっかり切る。
- ② 菊は、煮立ち湯に酢を少し入れてゆでる。ゆで上がったたら、水にさらしよく絞ってほぐす。
- ③ リンゴは、皮が付いたまま一口大に切る。
- ④ 沸騰したお湯に豆腐を入れ、再び気泡が出てきたら、すぐにざるに上げてお湯を切り、さらしに包んでしっかり水気を取る。
- ⑤ すり鉢にクルミ、砂糖、④を入れてすり混ぜる。さらに塩を加え、味を調える。
- ⑥ ①、②、③、⑤をざっくり混ぜ合わせて出来上がり。

肉を食べない、野菜中心の
食事が健康の秘訣です

小白川地区
食生活改善推進員
山口花枝さん

祖母が作るのを見よう見まねで覚えた精進料理です。毎朝必ず精進料理を作り、家に祭っています。霊山天狗山をはじめ火之目様、ご先祖様へお供えするのが私の日課となっています。自分の食事でも野菜が中心で、肉を食べることはありません。おかげさまで81歳の今も健康でいられると自負しています。

この料理のポイントは、調理の過程で具材の水気をしっかり切ることです。そうすることで舌触りの滑らかな仕上がりになります。

クルミの代わりに落花生でも代用できます。また、具材はゼンマイ、ニンジン、柿、白滝など旬のものや好みの食材を混ぜ合わせていろいろお試ください。おかず用には塩を効かせ、お茶請け用には砂糖を効かせるなど、用途に合わせてお好みで味付けしてください。



こどもみらい館の予定表 (11月・12月の日程)

11月16日(水) 10:30～	あそびの広場・避難訓練
24日(木) 10:30～	かんがる一広場
25日(金) 10:30～	交通安全指導
30日(水) 10:30～	保健師さんの指導
12月2日(金) 10:30～	避難訓練
3日(土) 10:30～	ブックスタート広場
7日(水) 10:30～	おはなし広場
9日(金) 10:30～	ほのぼの講座

かんがる一広場 おもちゃを作って遊びます。準備のため16日(水)まで申し込みください
11月24日(木) 10:30～
こどもみらい館

episode

子育て応援
 談
 kosodate
 ouendan

子どもの一言で自分を知る

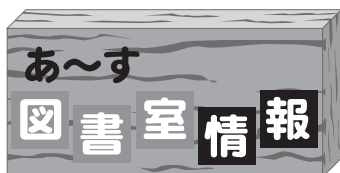
「眉間のしわを指摘され…」

「ママのまゆ毛のところに2本線があるよ」。わが子が指さした眉間には、くっきりとしわができていた。さらにわが子は言う。「おひさま(NHK朝の連続ドラマ小説)のおかあさんは怒らないから、顔に線はないんだよ」。子どもの一言で気づかされることもある。仕事に子育てにとあわただしい日々の中で、子どもをせかしたて、怒っての繰り返しだが、眉間のしわに現れたのか。

疲れた体と心を癒してくれるのは子どもたちの笑顔が一番。そのことに気づいてからは、仕事も子育ても心に余裕を持とうと努力している。あれもこれも完璧にしようとするのは所詮無理。時には“まあいっか”と妥協も必要だ。いつまでも子どもたちの頼れるお母さんでいたいから、今日もお風呂で眉間のしわをせっせと伸ばしている。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日
 利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00



今月の おすすめ図書



児童図書

「さんすうサウルス」

ダグ・クシュマン/絵
 ミシェル・マーケル/文
 福音館書店

数えるのが得意な「さんすうサウルス」は、いろいろな場面で算数の技を使う。妹があぶないときも、算数を使って大活躍！



児童図書

「あいうえおのきもち」

ひろかわさえこ/著 講談社

「あ」という音からは、どんな思いが聞こえてくる？「く」の字の形はどう見える？「あいうえお」の気持ちを想像して、言葉と仲良くなるう！



一般図書

「境遇」

湊かなえ/著 双葉社

デビュー作の絵本がベストセラーとなった陽子と、新聞記者の晴美は親友同士。ともに幼い頃、親に捨てられた過去を持つ。ある日、陽子の息子が誘拐され…。



一般図書

「赤ちゃんが大好きな絵本」

赤木かん子 加藤美穂子/著
 河出書房新社

絵本は赤ちゃんを楽しませる、とってもすてきなもの。0・1・2歳の赤ちゃんや妊婦さんに読んでほしい、読んであげたい珠玉の絵本80冊を紹介する。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



民踊

西部民踊愛好会

- ◆指導者／渡邊次男さん(小国町)
- ◆代表者／志田花子さん(手ノ子)
- ◆会員／10名
- ◆練習日時／毎月第2・第4火曜日ほか
19:00~21:00
- ◆練習場所／西部地区公民館

●西部民踊愛好会への入会・見学などのお問い合わせは、お知り合いの会員の方、もしくは志田花子会長まで☎75-2674

◆会員募集対象

経験・年齢・性別・住所問わず誰でも

◆ピーアール

西部民踊愛好会の発足は昭和53年。「会社勤めの人が増える中、地域の仲間が定期的に集まって楽しく過ごす時間を作ろうと考えたことが設立のきっかけです」と志田花子会長は話します。今では町の芸能発表会や地区文化祭での発表のほか、敬老会、文化祭、総会などにも招かれて踊りを披露しています。「お客さまに『踊りよかったよ』と声を掛けてもらえたときは、本当にこの会を始めてよかったと実感します」と志田さん。男性の方の入会大歓迎です。



志田さんにとって民踊とは…
仲間づくり、健康づくりの“生きがい”

◀志田花子さん

「木じりの世界」

連載
随想

町長の目と歩き

30

後藤 幸平

「本日は月末の月曜日。お忙しい日にかかわらずお集まりいただきましてありがとうございます」とあいさつを始めると傍らの課長が「え、町長、今日は金曜日、金曜日」慌てたようなあきれたような表情で途中止めに入った。そうか、今日は金曜日だった。最近、土日が仕事続きなのに加え平日に遠出したりする。となると曜日感覚が大きく狂う。正しい判断力を求められる首長の立場なら、頭はできれば鮮明でありたい。曜日や昨日の出来事は思い出せなくても過去の記憶は意外と鮮明であったりする。昔「木じり」というものがあつた。「木じり」が無くなったから人間は工夫をしなくなったなどと考え込んだ。「木じり」は「木尻」と書き、いろいろにくべる焚き木置き場だ。そこは遊びの宝庫だった。柴や薪にはさまざまな形があつてそれを上手に使う遊び道具を作る。パンバコ、弓と弓矢、鉄砲ヤス、チャェスターのライフルである。何と

物騒なものばかりを作つて遊んでいたものだ。もちろん切れもしなければ、弾が出るわけでもない。しかし、「ヤラレター」とばかりに無念の表情いっぱいにはバツサリと倒れて遊ぶ。「木じり」には、つけ木の杉葉やナラのバイタなど用途に応じた各種の樹木のほか山の恵みを暮らしに取り入れるための道具が並んであつた。鋸、鉋、鉋、斧、鉋、楔、鉋などである。子どもの遊びの宝庫である前に暮らしの根幹を支えたのが「木じり」だ。木は、燃料であると同時に、桶や曲げ物など生活用品の材料でもある。弁当の語源とされる面桶は当地方で「めんづ」と称する曲げの伝統工芸である。木地作りや塗りの技術は時絵など高度な芸術にまで磨かれていった。しかし、いまそれを仕事にする人はここにはいない。香川県の上勝町は「そうだ、葉っぱを売ろう」と木の葉の町おこしに成功した。飯豊町は「木じりの世界」から何か新しい手づくりの町おこしが出来ないだろうか。

Karte ⑥

脳卒中予防10カ条 その5

高すぎる コレステロールも 見逃すな

health column



コレステロールって？

コレステロールと聞くと悪いイメージがありますが、実は生きていくうえで必要不可欠なものです。コレステロールは、脂質の一種で、細胞膜、胆汁酸、各種ホルモンの原料になっています。血液中だけでなく、脳や脊髄、副腎、小腸、筋肉などにも含まれており、食事での摂取のほかに、体の中でも作られています。

必要量の1/5～1/3程度は食事から摂取され、残りは肝臓と小腸で作られます。食事でコレステロールを取り過ぎると、体の中で作られる量が自動的に少なくなり余分なコレステロールが肝臓から胆汁として排出されます。しかし、食生活の乱れや運動不足、ストレス、加齢などによりコレステロールをコントロールする機能が衰えると、体内のコレステロールの量が増加してしまうのです。

値が高いとどうなるの？

血液中のコレステロールや中性脂肪が多過ぎる病気を脂質異常症といいます。血液中にコレステロールが増えると、動脈の内側の壁にコレステロールがたまって血管壁が盛りあがって狭くなり、それとともに血管が硬くなって流くなりなります。そのため、血液が流

れにくくなったり、血管に血栓（血液の塊）が詰まりやすくなったりします。こうした現象を動脈硬化といいます。

動脈硬化が進むと、高血圧症や腎臓病の原因となったり、心筋梗塞・脳梗塞発症のリスクを高めます。コレステロール値を適正に管理することが、動脈硬化を防ぎ、心筋梗塞・脳梗塞発症のリスクを低くすることにつながります。

値が高い原因は3つ

コレステロールが高い原因は大きく分けて3つあると言われています。①「食習慣や生活習慣」、②「コレステロールが高くなる病気を持つている」、③「遺伝や体質」です。

中でも最も多いのが①によるものです。食べ過ぎ、飲み過ぎ、肥満、運動不足などで起こるもので、生活習慣を整えることが先決の課題です。②の「コレステロールが高くなる病気」とは糖尿病などのことで、病気が治療が値を下げる第一歩となります。③の場合は、生活習慣の乱れと連動して起こることが多いので、①と同じく生活習慣を整えることが重要です。

「コレステロールが高い」と一口で言っても、いろいろな原因があるのです。

脂質異常症を防ぐ食事

- ① 偏らない「栄養バランスの良い食事」を心がける
- ② 摂取総エネルギーを控えて、適正な体重を保つ
- ③ 肉類よりも魚を選ぶ
- ④ 野菜や海藻・きのこ類をたくさん食べる

青魚の脂肪はコレステロールや中性脂肪を下げ、野菜に含まれる食物繊維はコレステロールの吸収を抑える効果がある

すこやか川柳
優秀作品を紹介

脱メタボ 一日一度の運動で
(第一小3年 雷永心涼)

はじめよう 体よろこぶ
減塩生活
(添川小4年 渋谷麻斗)

しょっぱいよ 塩が多いよ
減らそうね
(手ノ子小3年 寒河江俊介)

「すこやか川柳」は、めざまの里まつりに合せ、小中学生の皆さんから応募いただいた作品です。優秀作品を順次紹介していきます。

にぎわい再現プロジェクト委員会イベント部会企画

にぎわいスマイル写真展で町の元気を発信！

にぎわい再現
Project

上/「あ～す」で写真の展示作業を行った安部宗和副委員長(右)、川崎光委員(中央)、小池和子委員(左)
左/写真を一点一点確認し、入念に選んだものを展示

このほど、にぎわい再現プロジェクト委員会イベント部会は、「にぎわいスマイル写真展」の活動をスタートさせました。

委員会の副委員長で、部会のリーダーを務める安部宗和さん(小白川)は、「にぎわいとは何かと話し合ったとき、笑顔があふれる町だという意見で一致した。それをストレートに表現したのが、この写真展です。多くの人に見てもらい、町の元気を感じ取ってもらいたい」と活動の目的を話します。

写真はすべて委員が撮影し、印刷も台紙づくりも自分たちでの手作業。町民総合センター「あ～す」に展示された写真は、めざみの里まつりの様子を写したもので、数は約100点にのぼります。どれも表情が豊かで、見る人を温かい気持ちにさせてくれるものばかり。

写真は「あ～す」のほか、役場にも展示され、プロジェクト委員会が関わった事業の写真を中心に、月2回のペースで更新される予定です。



(敬称略)

◆子ども県展

◇奨励賞/小林陸矢(飯豊中)

◆全国水源の里フォトコンテスト

◇特選/齋藤徹(松原)

◆山形県社会教育連絡協議会

社会教育関係職員表彰

遠藤節子(東部地区公民館)

◆町総合体育大会

◇ゲートボール

①中 ②手ノ子 ③東部

○最優秀選手/土田正明

○優秀選手/五十嵐政紀

◇グラウンド・ゴルフ【団体男子】

①小白川 ②萩生 ②手ノ子

◇グラウンド・ゴルフ【個人男子】

①舟山慶一 ②鈴木八郎兵衛

③高橋利広 ③渡部春雄

◇グラウンド・ゴルフ【団体女子】

①東部 ②小白川 ③萩生

◇グラウンド・ゴルフ【個人女子】

①加藤春江 ②佐野陽子

③上田輝子 ③二瓶ちよ

③渡部きよ

◇パークゴルフ【男子】

①井上克夫 ②粕川孝男

③嘉藤国昭

◇パークゴルフ【女子】

①二瓶ちよ ②渡部きよ

③渡部ヨシエ

◇柔道団体

①第一小チーム ②添川小チーム

③第二小チーム

◇柔道個人/小学低学年の部

①伊藤優馬 ②伊藤柁馬

③長沼有紀 ③塚田兆

◇柔道個人/小学高学年の部

①塚田朝陽 ②高橋瑞穂

③今野瑞帆 ③大場圭吾

◇柔道個人/中学生軽量の部

①今野拓海 ②渡部拓海

③高橋慎吾 ③井上善達

◇柔道個人/中学生重量の部

①舟山広大 ②横山大

③伊藤遥平 ③齋藤広樹

◇柔道個人/高校・一般の部

①小松光 ②野口正良

③大場正明 ③高橋智

◆ミヤカワ杯2011 U11大会

第2位/わかさサッカースポーツ少年団

◆山形県少年少女スポーツ交流大会

◇ソフトボール競技

第1位/白樺ソフトボールスポーツ少年団

◆町長杯グラウンド・ゴルフ

◇男子/①長岡秀雄 ②伊藤俊治
(小国町) ③井上克夫◇女子/①二瓶ちよ ②伊藤幸子
③加藤春江

【お詫びと訂正】

先月号に掲載しました町小学校陸上競技大会「男子・女子リレー」の結果に誤りがありました。正しい結果は下記のとおりです。訂正してお詫び致します。

◇男子リレー

①第一小 ②第二小 ③手ノ子小

◇女子リレー

①第二小 ②第一小 ③手ノ子小

町民総合センター「あ～す」開館20周年記念式典 第16回めざまみの里音楽祭・「あ～す」ジョイントコンサート



11.19 日 9:00 開場

「あ～す」開館20周年を多彩なプログラムと音楽でお祝いします。「音楽からのまちづくり」の軌跡をたどりながら音楽を一緒に楽しみましょう。

- ◆会場／町民総合センター「あ～す」
- ◆入場料／全席無料。ただし、「あ～す」ジョイントコンサートについては、整理券を「あ～す」、役場住民税務課会計室、各地区公民館で配布
- ◆日程・内容
9:30～ 第16回めざまみの里音楽祭
町内全小中学校、いいで中部幼稚園、添川児童セ

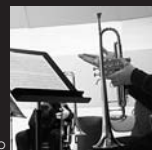
- ンターによる舞台発表
- 13:00～ 飯豊町民の歌歌碑除幕式・記念式典
経過報告、式辞、祝辞
- 飯豊町民の歌初披露『いつも心に』混声合唱
- 14:00～ 「あ～す」ジョイントコンサート
混声合唱『飯豊山』演奏、町少年少女合唱団、
男声合唱団プロージット、女声合唱団コラル・
ド・めざまみ、出羽之国飯豊山白流太鼓保存会、
めざまみキッズ(創作ミュージカル『獅子の笛』上演
全員合唱『いつも心に』

20年目の萌芽 “町に新たな吹奏楽団体”

「音楽からのまちづくり」の新たな活動の一環として、吹奏楽団体を設立することになりました。概要は次のとおりです。広く団員を募集します。

- ◆練習日／毎週水曜日、個人練習（希望者のみ）または合同練習をおこないます。合同練習は月2回の予定です。
- ◆練習時間
19:00集合・準備・ウォームアップ、20:00開始

- ◆練習会場／町民総合センター「あ～す」ほか
- ◆会費／入会費2,000円、月会費1,000円
- ◆申込方法／下記まで電話で申し込み。ただし、12月3日(土)で一次募集を締め切ります。その後も随時募集しております。
- ◆その他／個人で楽器をお持ちでない場合や打楽器については、町民総合センターまでお問い合わせください。



◆申込・問合せ先／町民総合センター「あ～す」 ☎72-3111



秋晴れの中、はせ掛けのお手伝いをし、心地よい汗をかきました

こんにちは。中津川もすっかり秋色になりました。日に日に濃くなつていく紅葉は、毎日見ている飽きません。

私は飯豊町に来て季節・自然の流れをよく感じられるようになりました。それは毎日の活動で、自然の中でさまざまな農作業を手伝わせていただいたり、この地でその時に採れる野菜を食べたりしているためだと思います。

今までの生活では空調が

発信② 日常の「すごいこと」を発見したい！



細川由貴（浜松市出身）
牧野美咲（金沢市出身）

緑のふるさと協力隊 通信

きいた場所で過ごす時間が多く、買い物に行っても年中いろいろな野菜が売っていて、私にとって季節感がなく、とても違和感を感じる生活でした。今年暑さ、寒さを感じ、外で体を動かして仕事することの気持ち良さを知ることができました。

そんな生活の中で中津川の人たちにとっては当たり前ですが、私には新鮮で面白く勉強になります。「何もない」とおっしゃる方もいますが、そんなことはなくて、何気なくしていることや考え方一つ一つにすごいな、と思うことも多いです。

これから冬になりイベントや大きな仕事が多くなるので、今までよりもっと日常の中にある、小さなすごいことを見つけていきたいと思っています。

(牧野)

飯豊町役場

電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

**飯豊町こくわワイン
新酒試飲会のご案内**

今年はおくわのスパークリングワインを限定でお楽しみいただけます。

- ◆日時／12月1日(木) 18:30～20:00
- ◆会場／めざみの里観光物産館
- ◆内容／新酒こくわワイン・スパークリングこくわワインの試飲
- ◆参加費／2,000円
※チケットは下記にて販売中です
- ◆問合せ先／JA山形おきたま飯豊支店 ☎72-2121

**お医者さんが教える
脳卒中予防出前講座**

本町では脳卒中の発症が多いため各地区で出前講座を開催し、お医者さんから脳卒中予防の秘訣を伝授していただきます。

- ◆会場・日時・講師
- ①東部地区公民館
○11月17日(木) 15:00～
○池田内科医院 池田医師
- ②中津川地区公民館
○11月27日(日) 13:00～
○公立置賜総合病院 金城医師
- ③健康福祉センター
○11月29日(火) 13:30～
○町国保診療所 後藤医師
- ④西部地区公民館
○11月30日(水) 13:30～
○中村循環器科医院 中村医師
- ◆内容／医師の講話、みそ汁飲み比べ、食生活の注意など
- ◆持ち物／容器に入れたみそ汁少量
- ◆参加料／無料
- ◆申込方法
直接会場にお越しください
- ◆問合せ先／町健康福祉課健康医療室 ☎86-2338

**みんなあつまれ～！
わくわくぐりぐら広場**

- ◆日時／12月4日(日) 10:30～11:30
- ◆会場／こどもみらい館
- ◆内容
○お話を聞こう！絵本・紙芝居の読み聞かせ
○つくって遊ぼう！クリスマスにぴったりの工作をします
- ◆参加費／無料
- ◆対象／おおむね3歳から小学3年生前後の児童とその保護者
- ◆申込締切／11月30日(水)まで
- ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
- ◆問合せ先／町民総合センター「あ～す」 ☎72-3111

**おきたまLOVEワゴン
参加者大募集**

置賜3市5町の若者がプロデュースする婚活プロジェクトの第2弾は「ほろ酔いバスツアー～」です。

- ◆日時／11月19日(土) 10:00～17:00
- ◆場所／赤湯駅西口集合
- ◆募集
20～40歳までのお酒が好きな独身男女各20名の合計40名
- ◆参加費
男性5,000円 女性2,000円
- ◆内容
南陽・高畠・白鷹の酒蔵とワイナリーをバスで巡り、お酒を楽しむツアー型のねるとんパーティーです。カップル賞やお土産を準備しています
- ◆申込方法／下記のホームページから申し込みください
<http://www.okikou.or.jp/d/>
- ◆申込・問合せ先
置賜広域行政事務組合総務課企画係 ☎0238-23-3246

**社会福祉法人いいで福祉会
職員募集のお知らせ**

- ◆職種・人員・雇用形態
- ①介護員／10名程度
常勤(正職員以外)
- ②看護師／若干名・常勤(正職員)
- ③調理員／若干名・常勤(正職員以外)
- ④作業療法士／1名・常勤(正職員)
- ◆応募資格
- ①資格不問(介護福祉士優遇)
- ②正・准看護師
- ③不問
- ④有資格者
- ◇学歴・その他の資格／○高校卒業以上または平成24年3月高校卒業見込み
○普通自動車免許
- ※上記の各資格は平成24年3月取得見込みも可
- ◆勤務体制／早番・遅番・夜間勤務あり。休日は勤務割表による
- ◆就業場所／地域密着型特別養護老人ホームまたは特別養護老人ホームひめさゆり荘(いずれも添川地内)
- ◆応募受付期間／随時受付
- ◆選考方法／面接
- ◆採用予定日／採用者と協議し、決定
- ◆応募・問合せ先／特別養護老人ホームひめさゆり荘 ☎74-2011
- 地元県議会議員による
地域議員協議会のご案内**
- 県議会では、地元議員による地域の課題や施策について審議を行う地域議員協議会を開催します。
- ◆日時／11月22日(火) 13:30～
- ◆場所／置賜総合支庁西庁舎(長井市)
- ◆参加方法／傍聴を希望される方は、直接会場でお申し込みください
- ◆問合せ先／県議会事務局政策調査室 ☎023-630-2846

こせきのほど
戸籍の窓

(10月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(中 梅 津 一 樹さん 川 西 町 井 上 奈 月さん 萩 生 相 澤 壮 さん 白 鷹 町 初 鹿 友 美さん (中 小 松 巧 さん 長 井 市 大 沼 淳 美さん	

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
萩生手 塚 姫 美ちゃん	(裕 樹 麻 耶)	
小白川横 山 未 華ちゃん	(健 春 愛)	

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
手ノ子 向原 横 山 剛 さん	34	
添川 (ひめさゆり) 渡 部 保 さん	88	
椿 辻 大 内 新三郎さん	90	
添川 (ひめさゆり) 須 貝 たつ子さん	83	
手ノ子 町上 井 上 絢 斗さん	15	
小白川北上野 井 上 定 夫さん	63	
椿 上野 小 川 ち よさん	93	
中 北酒町 長 岡 恒 有さん	78	
松原 勝 見 き みさん	85	
椿 駅前 伊 藤 亮 一さん	79	
中 北新田 長 岡 と めさん	95	
萩生 中ノ舘 嶋 貫 六 郎さん	94	
椿 上野 梅 澤 周 子さん	68	
黒沢 谷地田 佐 藤 シ ノさん	90	

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

10月分 () 内は対前月比				
世帯数	2,379 (-3)	転入	3	
人	男	3,904 (-14)	転出	10
	女	4,145 (-4)	出生	3
口計	8,049 (-18)	死亡	14	

**犯罪被害者支援県民のつどい
のご案内**

- ◆日時/11月25日(金) 13:30~16:00
- ◆場所/山形国際交流プラザ(山形市)
- ◆内容
 - 基調講演「被害者遺族の声」
 - 東日本大震災被害者支援活動の報告
 - チェロとピアノの演奏
- ◆入場料/無料
- ◆問合せ先/社)やまがた被害者支援センター事務局 ☎023-642-3571

**児童虐待防止推進月間
児童虐待などの相談窓口**

11月は児童虐待防止推進月間です。虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときやご自身が出産や子育てに悩んだときには、児童相談所または役場まで連絡・相談ください。

- ◆児童虐待などの相談窓口
 - 全国共通ダイヤル ☎0570-064-000
※地域の児童相談所に繋がります
 - 平日(8:30~17:00)の連絡先
役場教育文化課子育て支援室 ☎72-2111内線163・167
 - 夜間など時間外の緊急連絡
山形県中央児童相談所 ☎023-627-1195 (24時間受付)

**行政書士まで
気軽に相談ください**

行政書士は、官庁や役所などに提出する諸書類の作成、相談、提出代行を行います。

- 【無料相談の案内】
- ◆場所/長井市役所市民相談センター内
- ◆日時/毎月第4火曜日10:00~12:00
- ◆問合せ先/山形県行政書士会会長井支部事務局 ☎88-2825

**「置賜の明日の医療を考える」
公開講座のご案内**

医師不足などによる医療崩壊の危機を乗り越えた地域の事例から学び、置賜地域の医療を守るためにはどうしたらよいかを考えます。

- ◆日時/12月11日(日) 13:30~15:50
- ◆会場/町民総合センター「あ〜す」
- ◆講師/足立智和氏(丹波新聞社記者)
- ◆参加料/無料
- ◆問合せ先

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000内線1902

**復興支援・子育て応援
山響コンサートのご案内**

小さなお子さんと一緒に楽しめる復興支援・子育て応援コンサートです。「みんなのうた」などでおなじみの曲も上演されますので、お楽しみに。

- ◆日時/11月23日(水祝) 14:00開演
- ◆会場/町民総合センター「あ〜す」
- ◆入場料/大人500円 子ども無料
被災(罹災)証明書を持参の方無料
- ◆問合せ先/町民総合センター「あ〜す」 ☎72-3111

**女性に対する暴力をなくす
運動期間のお知らせ**

11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。配偶者などからの暴力、性犯罪、売春、セクハラ、ストーーカー行為など、女性に対する暴力は女性の人権を侵害するものです。この運動期間をきっかけに女性に対する暴力について考え、暴力のない社会づくりを進めましょう。

- ◆問合せ先
山形県子育て推進部青少年・男女共同参画課 ☎023-630-2727

◇今や日本を代表するイタリ
ア料理人の奥田政行シェフ。
本町で八神純子さんのチャリ
ティーコンサートを企画した
のは、ほかならぬ奥田シェフ
でした。なぜ飯豊町だったの
でしょう? ▽奥田シェフは
炊き出しに、八神さんは被災
者を歌で励ます活動にと、一
緒に東日本大震災の被災地を
回ったボランティア仲間との
こと。「被災した人たちのた
めにと、がんばってきた八神
さんの心と体を飯豊町で癒し
てもらいたかった」と奥田
シェフは話してくれました。
シェフの本町への思い入れが
うかがい知れ、自尊心がくす
ぐられました。
(横山)



全国山野草・つみ草料理

町おこしサミットinいいで

平成23年10月22日
町民総合センター「あくす」

第11回全国山野草・つみ草料理町おこしサミットが、飯豊町を会場に開催されました。基調講演やパネルディスカッション、山野草料理コンテストなどが繰り広げられ、今まで見過ごしていた山野草の価値を再発見する機会となりました。

10月22日、町民総合センター「あくす」を会場に、第11回全国山野草・つみ草料理町おこしサミットが開催され、県内外から約150名が参加しました。

目的は、山野草の研究と、その料理の普及により、地域活性化と観光振興を図ろうというもの。つみ草を通して活動する個人・団体の情報交換と交流の場としてサミットが年1回開催されています。

サミット実行委員長として登壇した後藤町長は、「地域にないものをねだるのではなく、地域にあるもの

を生かす時代。つみ草が町おこしの新しい手法として生かされることを期待します」とあいさつしました。

山野草研究家でNPO法人日本つみくさ研究会理事長・篠原準八氏（じゅんぱち）の基調講演では、つみ草料理を提供し、地域づくりや観光に役立てている全国各地の事例を報告。「邪魔者扱いされていた草を町おこしに使おうというのは、これまでになかった発想。自然に生えてくるものだからお金もかからない、手間もかからない、健康に良い薬効もある」と山野草の有益性を解説しました。



パネルディスカッションには、本町と交流の深いアル・ケッチャーノのオーナーシェフ・奥田政行氏や写真家・佐藤秀明氏などをパネラーに迎え、意見が交わされました。この中で奥田氏はレストラン開店時の秘話を披露。当時、お客さまがなかなか入らず、スタッフの給料や材料の仕入れにも困難になり、困り果て、身近にある「つみ草」を料理して提供したところ、「ハーブを巧に扱う料理人」として雑誌で取り上げられることに。「つみ草のおかげで、経営が軌道にのりました」と話すと、会場はどっと沸きました。

山野草料理コンテストは、26品の応募があり、味・見た目・山野草の使用割り合いなどを審査基準に、審査員50名による投票方式で行われました。料理はバラエティに富み、山野草の利用の幅広さが伺えました。結果は次の通りです。▽最優秀賞「山露やまろの(寿)砂糖菓子」▽五十嵐あいさん(白川)▽優秀賞「クローバー入り棒ギョウザ」▽重野あおいさん(長井市)▽優秀賞「山あけびのじんだ合え」▽伊藤信子さん(岩倉)

さらにサミット翌日には、なかつがわ農家民宿開業5周年とつみ草サミット記念事業として八神純子さんのチャリティーコンサートが、山形県源流の森で開かれました。すてきな歌とトークで会場は大いに盛り上がりました。

民宿のお客さまも大喜び



なかつがわ農家民宿組合
伊藤信子組合長

篠原先生と出会ったのは2年前です。農家民宿の勉強会として、つみ草の知識と料理方法を教えてもらいました。初めてクローバーのかき揚げを食べたときは、おいしくて、その味に驚きました。民宿のお客さまにも、野山で取ったつみ草料理をお出しすると、「食べれるとは知らなかった」と大変喜んでくれ、私たちが得意な気分になりうれしくなります。

足元にある豊かさに気付く



日本写真家協会写真家
佐藤秀明氏

仕事柄、世界の雄大な自然景観を撮りに行くことがあります。そのため、地平線を望むように遠くばかりを見ることが多かったです。しかし、篠原先生の著書の仕事でつみ草に出会ってからは、足元にあるものをしっかり見るようになりました。レンズを通して草や花を見ると、今まで気付かなかった美しさや食べ物としての恵の豊かさに気付かされました。

勉強会に参加して驚きの連続



町食生活改善推進員連絡協議会
中村文子会長

「つみ草」と聞いても初め興味はわきませんでした。しかし、勉強会に参加してカボチャの花、桑の葉、山ウドの実など身近な草花が食べられると知り、驚きの連続でした。胎内市の「草花菜会」の視察で食べたアカザの実の料理がおいしくて印象に残りましたが、家の畑にも生えていたのを見つけ、食べられるものを食べずに過ごしてきたのだと感じました。

つみ草で心のリセット



アル・ケッチャーノ
奥田政行シェフ

つみ草は春の料理に使う大切な食材です。どの草が食べれて、どの草が食べれないか見極めようと試食し、気を失いようになったことがあります(笑)。落ち着きを取り戻したいときや迷いが生じたときは、「畑に行ってくる」とスタッフに言って外に行き、ゆっくり草花を眺めながら摘みます。料理でなく、「つみ草」で心のリセットもしているのです。

パネルディスカッションから



つみ草料理のレストラン開業



新潟県胎内市健康福祉課元気応援係黒川担当
板垣美智子係長

胎内市では、「胎内サラダ記念日」を設け、つみ草散策と料理を楽しむイベントを毎年行っています。また、平成21年に食生活改善推進員の有志7名が「草花菜会」を結成し、つみ草料理を提供するレストランを開業しました。限定30名の予約制で、5月から10月の間、6回開店する仕組みです。市内外から多くのお客さまがみえられ、好評を得ています。

photograph

- 1 山野草料理コンテスト最優秀賞「山露やまろの(寿)砂糖菓子」 2 優秀賞「クローバー入り棒ギョウザ」 3 優秀賞「山あけびのじんだ合え」
4 山野草料理コンテストでは、味・香り・彩りともに工夫を凝らした力作料理が並び、審査員を悩ませた 5 山野草研究家でNPO法人日本つみくさ研究会理事長の篠原準八氏が基調講演。つみ草を通じた活動の輪が全国に広がり、人と人の結びつきにも役立っているとも話す 6 八神純子さんのチャリティーコンサートには町内外から約300名が来場。収益金は、東日本大震災の被災地へ贈られた

文化財は、郷土の歴史、民俗、信仰、自然を物語る町の宝。継承し守り続けている人たちがいるから輝く価値がある。



写真/社叢とは、「神社の森」を意味する言葉。松原文殊堂を守るように巨木の松が高くそびえ立つ

Treasures in Iide Town

14

selection

松原文殊堂社叢

昭和62年度町天然記念物指定

Interview

守り続ける人たち



所有者 喜雲寺住職

茂木孝順さん
(添川)

地域のあつい信仰心に守られて

松原文殊堂は元禄5年(1692年)に建立されてからずっと松原地区の鎮守として、地域の人たちに信仰され、大切に守られてきました。今日に至っても、お堂や境内の清掃、社叢の下刈りなどに、部落事業として皆さんが協力し合い取り組んでいただいています。

社叢の松は古いもので樹齢300年以上のもの聞いています。残念ながら近年、松くい虫が発生し、貴重な巨木を3本切り倒した経過があり、風景は少し変わってしまいました。それでも、地域の聖地という役割はこれからも変わらないはず。将来を担う若い人たちや子どもたちへ松原文殊堂の大切さを伝え、いつまでも信仰心を持ち続けて欲しいと願っています。

解説

松原文殊堂社叢

諏訪峠の山の中腹に松原文殊堂は祭られている。

文殊堂のいわれは次のように伝わる。元禄4年(1691)、松原の又左工門が川底から石仏を見つけ持仏堂へ納めた。その後、又左工門の夢の中に文殊菩薩が示現し、元禄5年に堂を建てて安置したことによる。堂は文化元年(1804)に又左工門から喜雲寺へ引き継がれ、現在に至っている。

この社殿へ登る石段の中段に3本、登りつめたあたりに2本と、目通り3メートルを超す老杉が聳(そび)え、また境の周囲は高さ30メートルに達する赤松の古木数十本の社叢で囲まれている。

社叢は、昭和62年3月、町の天然記念物に指定された。